

坊か家の徳を善の志下

京傳著述

通油町

徳と庄



13
2946
40



秣

へ13 特
2946
40

心こころの
巧たくま画え師し

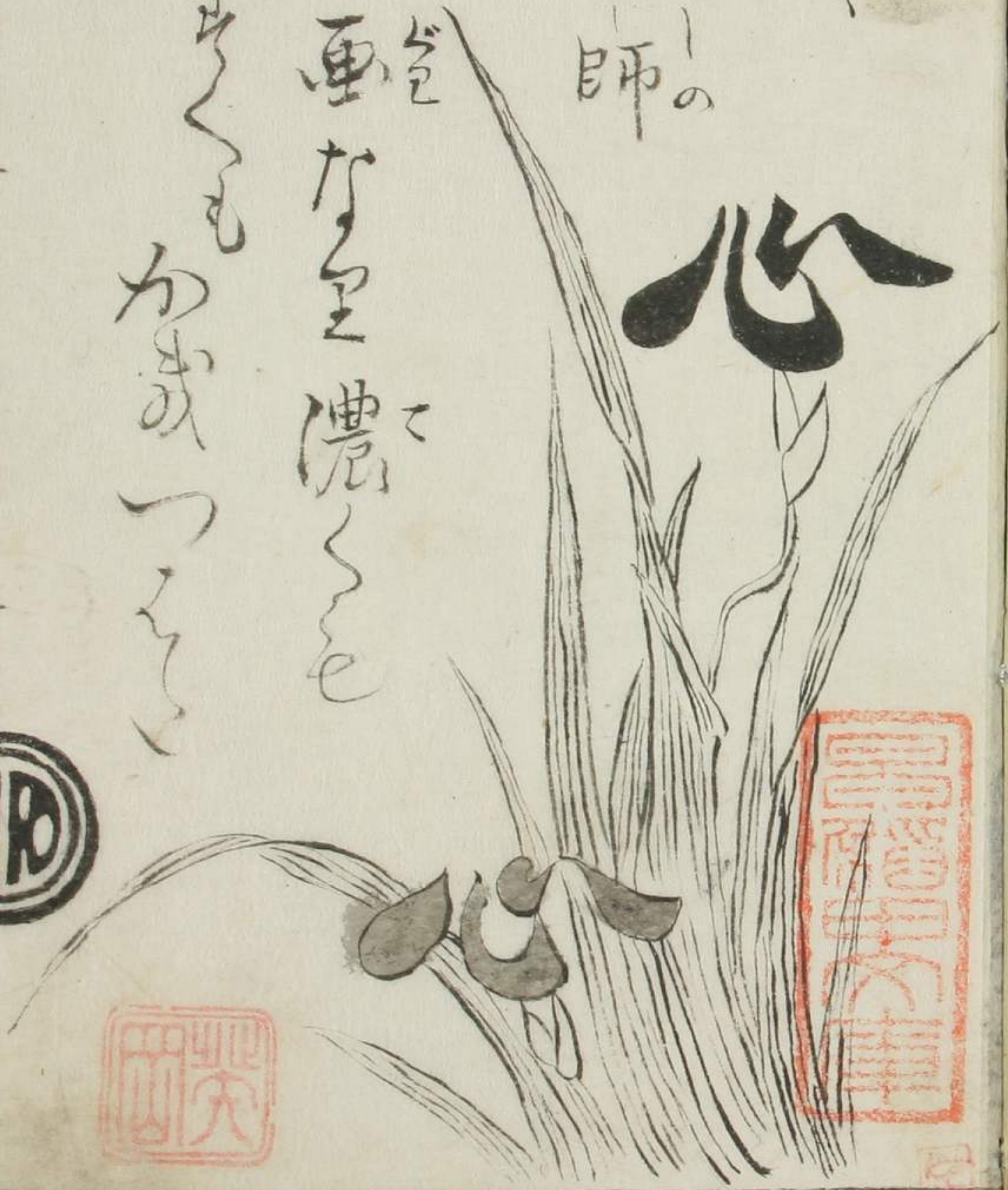
心

心こころの画えが至いた濃こくも

かみつ

寛政五癸丑春

山東京傳賛



心



此の世に善悪の道ありて
 善の道を行ふれば善の報あり
 悪の道を行ふれば悪の報あり
 此の世に善悪の道ありて
 善の道を行ふれば善の報あり
 悪の道を行ふれば悪の報あり



善の道を行ふれば善の報あり
 悪の道を行ふれば悪の報あり
 此の世に善悪の道ありて
 善の道を行ふれば善の報あり
 悪の道を行ふれば悪の報あり

此の世に善悪の道ありて
 善の道を行ふれば善の報あり
 悪の道を行ふれば悪の報あり
 此の世に善悪の道ありて
 善の道を行ふれば善の報あり
 悪の道を行ふれば悪の報あり



此の世に善悪の道ありて
 善の道を行ふれば善の報あり
 悪の道を行ふれば悪の報あり
 此の世に善悪の道ありて
 善の道を行ふれば善の報あり
 悪の道を行ふれば悪の報あり



あつちの
あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの
あつちの



あつちの
あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの
あつちの

あつちの
あつちの
あつちの
あつちの

天保壬寅六月晦於茅街交易

大我書屋藏本



京傳作

